

令和 2 年度 いわき市医療センター看護専門学校 学校運営評価

1 教職員による学校運営評価

1) 評価表

評価のカテゴリーは9領域（48 項目）です。各項目は、「5；できている～1；できていない」の5段階で評価しました。

2) 全体の結果

I～Ⅸのカテゴリー別平均の推移は図1の通りです。過去2年間と傾向は類似しています。平均の高い順にみると「Ⅰ学校経営」（4.67）、「Ⅲ入学・卒業対策」（4.61）、「Ⅷ広報」（4.58）、「Ⅴ管理運営・財政」（4.54）、「Ⅳ学生生活への支援」（4.53）、「Ⅱ教育課程・教育活動」（4.47）、「Ⅶ教職員の育成」（4.47）、「Ⅵ施設設備」（4.22）の順でした。平均点が一番低いカテゴリーは、「Ⅸ地域との連携」（4.00）でした。

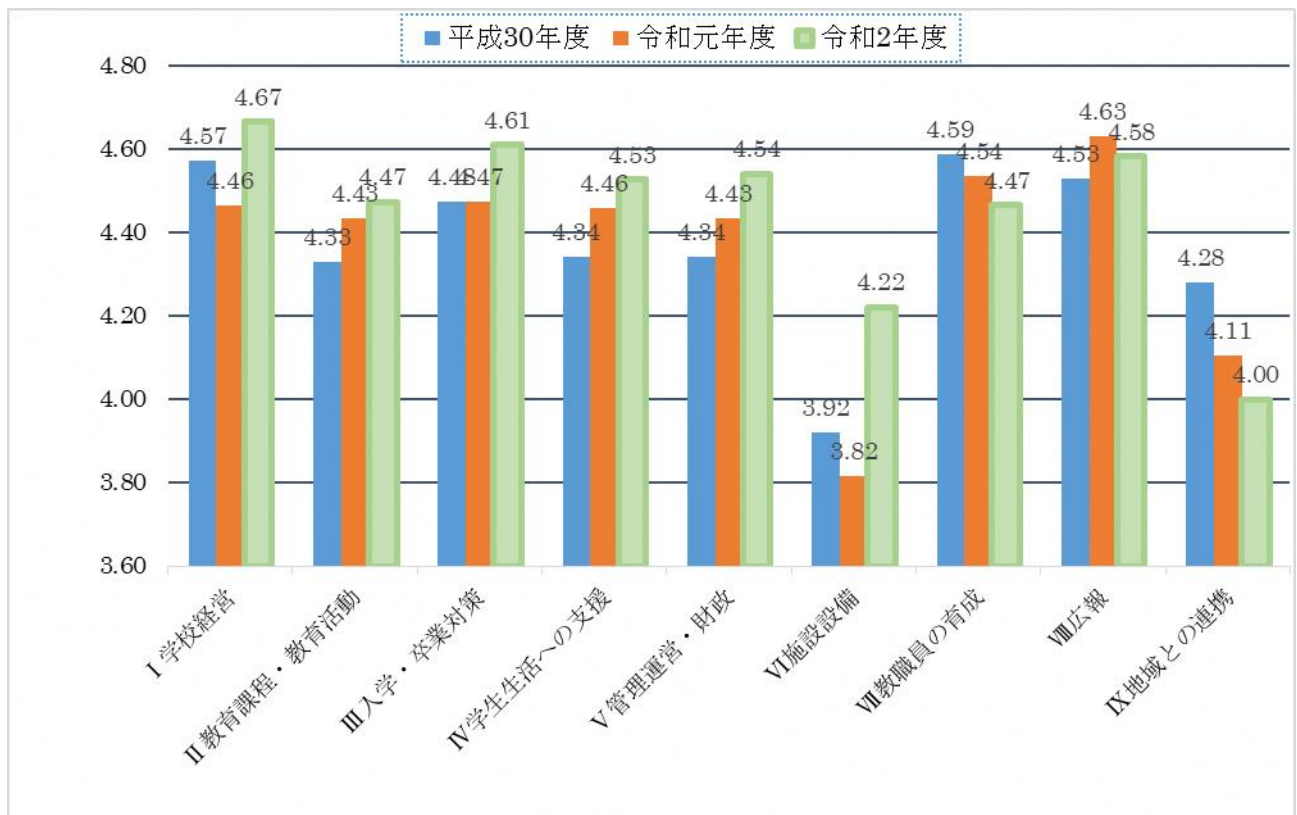


図1 学校運営評価(平成30年度～令和2年度)

3) 感染症対策の徹底、看護師国家試験 10 年間連続全員合格

看護師国家試験の合格率は令和2年度も100%で、過去10年間の卒業生が全員合格しています。今年は新型コロナウイルス感染症の影響で、5月から7月までの実習は学内で行いました。また通年で実習できない領域もありましたが、学内でのシミュレーション教育や、短期間の臨地実習に集中して取り組むなどの工夫で学習成果を上げることができました。日々の授業や計画的な低学年からの模擬試験の実施、臨床の実習指導者と連携した実習指導、国家試験に向けての学習支援体制を整える等の支援が、一人ひとりの学生の力となり合格につながっています。

感染症対策については、いわき市医療センター感染管理室にご助言いただき、随時感染対策を見直し、感染症予防や拡大防止対策を徹底しました。学生一人ひとりが、看護学生として、市民の一人として、毎日の体調及び行動の確認、感染対策に取り組んでいます。

4) 感染症への対応とカリキュラム改正に向けた準備

新型コロナウイルス感染症の影響による休校期間中、遠隔会議システムを使用してオンライン授業を導入するなど、学生に不利益を生じない取り組みや、実習中止や実習時間短縮などへの対応としてシミュレーション教育を取り入れるなどの対応を行いました。また、2022年度の改正カリキュラムに向けて、研修の受講や勉強会を開催し、教員全員で計画的に準備を進めています。

今年、取り組んだ研究は以下の通りです。

- (1) 平澤由希子他：看護専任教員が不安を感じる臨床実践能力（第2報）ー必要とする支援の検討ー，第51回（令和2年度）日本看護学会(看護教育)，金沢市(オンライン開催)。

5) 臨地実習評価に全学年でルーブリック導入

令和元年度は1、2年生、2年度は3年生の臨地実習の評価にルーブリックを使用しました。ルーブリックにはその実習で目指してほしい姿が表現されており、実習前に実習目標とルーブリックを確認して目標を明確化し、学生と教員が目標を共有して毎日の実習に臨んでいます。

6) 感染症対策を行いながらさまざまな行事を実施

今年の学校見学会は動画配信で行いました。また、文化祭は校内発表のみでしたが、3密をさけながら、素晴らしいパフォーマンスをすることができました。入学式、看護宣誓式、卒業式は規模を縮小して開催し、大切な節目となりました。

2 学校生活に対する卒業時アンケート

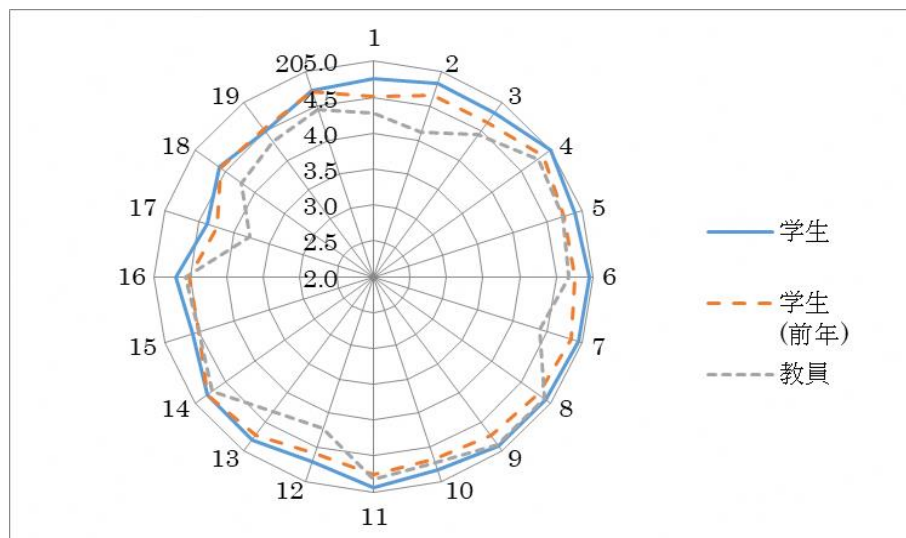


図2 学校生活に関するアンケートー教職員の学校運営評価との対比ー

評価のカテゴリーは6領域（全項目20項目）です。20項目の平均は4.8（30年度4.2、R1年度4.7）でした。前年度と同様に高得点で、3年間の学校生活に対する満足度は高いと考えられます。

平均が最も低かったのは、Ⅵ施設設備の「バリアフリー構造」4.4でしたが、校舎裏階段や西階段下の修繕工事が進むなど、学校生活には支障のない状態となっています。今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で4～5月は遠隔授業が行われました。自宅のインターネット環境が整っていない学生もいましたが、スマートフォンを活用して対応できました。遠隔会議システムは、授業だけでなく、研修や学生への学習支援にも活用できています。今後も、ハード面ソフト面の教育環境を整え、この学校に入学して良かったと思えるよう、学生一人ひとりにきめ細やかな支援を継続していきます。

＊「学校生活に関するアンケート」の項目と内容：図 2 の番号の項目と内容については下記をご参照下さい。

I 教育課程・教育活動に関する項目

- 1 学生便覧に記載されているシラバス(授業内容)は、学生が授業内容を理解しやすく、授業内容と一致している。
- 2 授業内容や指導方法が学生レベルにあうよう工夫・改善している。
- 3 実習目標に沿った病棟の選択及び、学習環境・指導体制が整っている。
- 4 実習における患者への倫理的配慮に関するガイドラインを作成し、患者等の同意を得た上で、実施している。
- 5 実習において、学生が関係したインシデント(ヒヤリ・ハット体験、事故報告)等を把握・分析しているとともに、改善策を講じている。
- 6 授業改善に努める目的で、学生による授業評価(講義・臨地実習)を実施している。
- 7 学生指導において、学生に対して人権への配慮がされている。

II 入学・卒業対策に関する項目

- 8 国試対策に個々の学生にあった指導・援助を実施するなど教職員一丸となって取り組んでいる。
- 9 学生の進路決定率を高めるよう努めている。

III 学生生活への支援に関する項目

- 10 学生の心身面での健康管理体制が整っている。
- 11 学生生活、進学、就職に関して学生の相談に十分応じている。
- 12 学生がボランティアなどの社会活動へ積極的に参加できるよう努めている。
- 13 教育・学習活動に関する情報提供を保護者等に行い、支援を得ることにつながっている。

IV 管理運営・財政に関する項目

- 14 災害など非常時の危機管理体制が整っている。
- 15 学校運営などに学生の意見が反映されている。

V 施設設備に関する項目

- 16 校舎を定期的に点検し、適正な整備を行っている。
- 17 校舎はバリアフリーに配慮された構造になっている。
- 18 教育目標達成に必要な施設、設備及び新しい教材が整っており、活用されている。
- 19 学生のために、休息、親睦及び交流等を行うためのスペースが設けられている。

VI 広報に関する項目

- 20 看護師養成所としての存在を、十分にアピールする広報活動を適切に行っている。